



災害国の日本では、葬祭業においても経営者の防災視点は欠かせない

約360人・約150人の避難者（市民・市外は問わない）を受け入れるというものだ。今後は展開する残りの21会館も、避難所として地域に開放していく考えである。

もう1つの類いに、災害時の帰宅困難者対策として、葬祭会館を一時滞在施設として開放するという内容で協定を結んでいるところがある。

帰宅困難者は東日本大震災でクローズアップされた。首都圏では鉄道・道路が麻痺状態になり、通勤者の多くが移動手段を奪われた結果、約515万人（内閣府推計）の帰宅困難者が発生。震源に最も近かった百万都市・仙台市でも、市の推計によれば、帰宅困難者は約1万1,000人にのぼったという。また、今後30年以上の発生確率が80%といわれている南海トラフ地震では、愛知県で最大約93万人、うち名古屋市で約48万人の帰宅困難者が発生すると予測している（愛知県東海地震・東南海地震・南海地震被害予測調査結果、2014年）。

そのため、国はその対策を強化する必要があると、2015年に「防災基本計画」を打ち出し、「むやみに移動を開始しない」という帰宅困難者対策に関する基本原則を示すとともに、「大規模地震の発生に伴う帰宅困難者対策のガイドライン」を策定し、大都市圏においては帰宅の抑制（帰宅者が駅周辺などに滞留しないよう事業者や学校にはたらきかける等）を徹底するとともに、一時滞在施設の確保などに関する指針を取りまとめた。

地方都市では、帰宅困難者問題が発生する規模・範囲は大都市ほど大きくなく限定的だろうが、それでもまったく対策がいないというわ

けではない。帰宅抑制対策は必要ないかもしれないが、道路が地震およびその後の津波などで途絶すれば、仕事・学校・買い物・催し・訪問などの目的で、車やバスを使って流入した人々の帰宅はむずかしくなる。

そうしたとき、避難所として指定された公共施設等は地域住民のために用意されたものであり、そこに地域外の帰宅困難者を誘導することは、避難所の運営面からも認めにくいといえる。そのため自治体側は、一時滞在施設を民間企業などに求めざるを得ない。その点、葬祭会館は式場等の広い空間をもっていることから一時滞在スペースとして都合がよく、ましてや、地域サポートも果たしたい葬祭事業者が手を挙げるのは、なんら不思議ではない。

葬祭業と自治体が締結する災害協定は、業界団体×自治体、複数葬祭事業者×自治体のケースも少なくない。今後も、自治体と葬祭事業者双方の思惑が相通ずる限り、全国各地で締結するケースはふえていくと考えられる。

**災害時のご遺体の安置にこそ
葬祭事業者としての存在意義を**

しかしながら、有事の際の緊急避難施設や帰宅困難者向けの滞在施設として開放することが葬祭会館が果たす役目の第一義ではない。

仙台地域葬儀会館連絡協議会（仙台葬連協）の会長である菅原裕典氏（清月記）は、「大災害が起こったとき、集会所やコミュニティセンター、学校、体育館といった公共施設は被災者の避難所として開放されるが、亡くなった市民（ご遺体）はどこに安置すればよいのか。そこに、われわれ葬儀社がもっている葬祭会館の役割が

あるのではないかと説く。

仙台葬連協は、専門葬儀社と互助会の枠を超えて仙台圏の葬祭事業者21社が連携するもので、複数の葬祭会館をもつ会員企業が遺体安置所として会館を提供し、1会館のみの会員企業は人的リソースを提供するというスキームだ。競合する事業者同士を1つにまとめ上げたのも画期的だが、東日本大震災の発災前の2002年に発足した点に、ほかに例をみない先見性が認められよう。今年9月には一般社団法人に移行する予定で、より公益性の高い団体として活動していくとしている。

こうした仙台葬連協の活動からいえること

は、災害時の葬祭会館の役目として、緊急避難施設や一時滞在施設として開放する以上に大事なものは、行き場のない遺体の安置所として会館を提供することであろう。それができてはじめて、葬祭事業者の存在意義が地域にアピールできるという。すなわち、遺体の取扱いから遺族ケアにまで長けた「職能集団」——、このことが昔もいまも変わらない葬祭業の本質でもあるからだ。

【参考資料】

地方都市の「帰宅困難者問題」ガイド（東北大学 災害科学国際研究所 丸谷研究室、2018）
災害発生時の帰宅困難者対策に関する実態調査（総務省中部管区行政評価局、2016）

戦略理論構築だけ!? 商材調達だけ!? では



前に進みません!!

そのクッションと動力になるものは?

私共はトータルに貴社繁栄のサポートを致します。

お気軽に電話・メールにてお問い合わせ下さい。

株式会社 創心社

TEL.06-4861-0111 FAX.06-4861-0112



0120-4242-17

当社運営サイト:<http://www.e-sogi.ne.jp>



ホームページからの商品購入が便利にない? メリットもたくさん!!
スマホ対応でリニューアル!! <http://www.soshinsha.com>